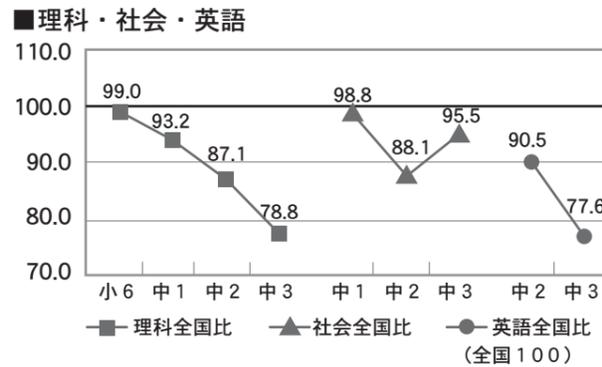
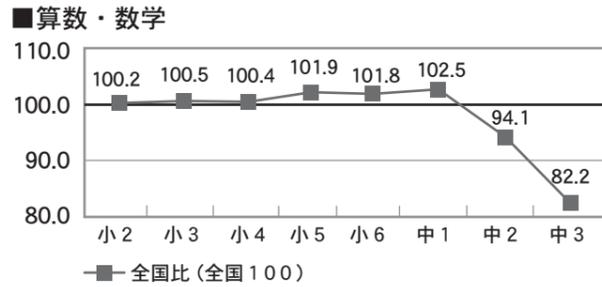
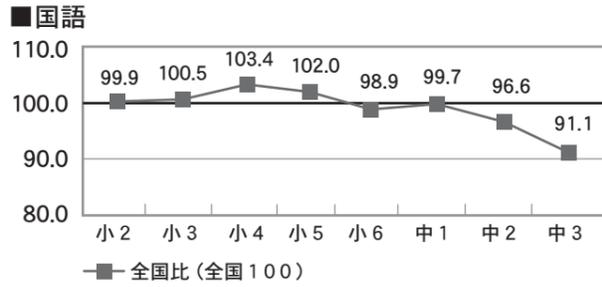
学力の向上に向けて

これまで実施された全国学力・学習状況調査の結果を受けて、香美市教育委員会では、各学校と協力しながら、授業改善に取り組んでいます。また、学力を支える仲間づくりにも力を入れています。香美市の子どもたちの学力・学習状況の現状と、取り組みについてお知らせします。

学力の現状

児童・生徒が、学習した内容をどれだけ理解しているかを把握するために、今年4月に**標準学力調査**を実施しました。全国平均を100として各学年の結果をグラフに表しました。

全体としては、小学2年～6年および中学1年までは、ほぼ全国平均並の学力を維持しているのに対し、中学2年・3年で、全国平均との差が大きくなっています。昨年度と同様に、中学校の学力調査結果は、全国に比べると厳しい結果となっています。

各校では、自校の結果を分析し、それ以降の授業改善や学力定着の取り組みに活かしています。

標準学力調査結果　全国平均との比較

■算数・数学

	小２	小３	小４	小５	小６	中１	中２	中３
全国比（全国１００）	100.2	100.5	100.4	101.9	101.8	102.5	94.1	82.2

■理科・社会・英語

	小６	中１	中２	中３
理科全国比	99.0	93.2	87.1	78.8
社会全国比		98.8	88.1	95.5
英語全国比			90.5	77.6

（全国１００）

今年度の重点項目

香美市教育委員会では、義務教育9年間を通して子どもたちにしっかりとした学力をつけていくために、今年は次の6項目について教育研究所と連携し、アンケートを行い、取り組みの検証を進めていきます。

本年度の4月段階の結果を分析してみると、学年によって差はあるものの、国語で8割、算数・数学で7割以上の児童生徒が授業は分かっていると答えています。また、1から5までは、昨年度より肯定的に答える児童生徒が増加しています。

一方で、「自分で時間を決めて、テレビを見ているか」については、肯定的に答えた子どもが全国と比べても小学4・6年生以外は低くなっています。また昨年度と比べても、大きく改善した学年はほとんどありません。この項目は、主体的に学習する習慣をつけることにつながるため、ご家庭の協力もいただきながら、一層の取り組みを進めていかねばなりません。

本年度重点的に取り組む６項目について児童生徒にアンケートをとりました

◆アンケートの内容

1. 国語の授業内容はよく分かりますか。
2. 算数・数学の授業内容はよく分かりますか。
3. 算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いていますか。
4. 普段の授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。
5. 学校に行く日には、学校の授業時間以外に１日にどのくらい勉強をしますか。
6. 自分で時間を決めてテレビを見ていますか。

家庭学習時間

各学校では、小中学校を通して、学力に必要な学習習慣をつけていくことの大切さを子どもや保護者に伝えたり、鏡野中学校では地域の学校ボランティアや保護者と協力して、自主学習ノートを点検したりする取り組みをした結果、今年度の家庭学習についての調査結果では、どの学年も改善がみられました。特に、中学1年、2年は昨年度に比べて30分以下の生徒が大きく減少しました。この結果は、これまでの取り組みの成果として学力向上にも繋がるものであり、今後の成果が期待できます。さらに内容を充実させ、学力が定着するように取り組みを進めていきます。

家庭学習時間の推移

２時間以上　１時間以上２時間まで　３０分以下　無回答

授業が大切

年4回、**香美市授業研究会**を実施し、国語科に広島大学吉田教授、算数・数学科に鳥取大学矢部敏昭副学長を講師に迎え、質の高い授業づくりをめざして香美市の教職員への研修を行っています。

この研究会を通して、主体的に学習する子どもを育てるための授業の仕方やノート指導の在り方など、小中学校の教職員が集まり指導方法について学び、協議しながら、授業改善をすすめています。

これまで実施してきた香美市授業研究会について、参加した教職員を対象に行ったアンケートの結果のうち、成果と課題についてお知らせします。

香美市授業研究会についてのアンケート結果

◆香美市授業研究会の成果（人）

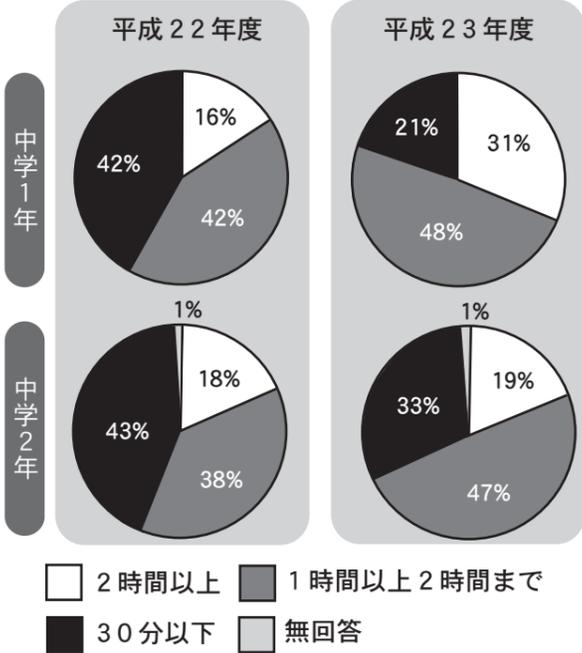
項目	人
今までと指導法が変わってきた	30
新学習指導要領を意識できるようになった	54
動機付けや興味関心の喚起の仕方が変わってきた	40
指導に必要な専門的知識や指導技術が向上してきた	29
授業を受ける児童生徒の反応が変わってきた	9
香美市の授業のスタンダードについて理解できた	64
教員の間で、授業づくりについて話す機会が増えた	53
その他	4
無回答	12

◆香美市の学力向上に向けての課題（人）

項目	人
教師の授業改善への意欲	62
学校の学年間の連携	21
学習意欲を高める指導・工夫	82
児童・生徒へのコーチング技術	17
家庭学習の定着への取り組み・工夫	59
新学習指導要領への対応	19
学力向上に向けた学校体制（生徒指導を含む）	66
小中連携した指導方法や共通理解	70
その他	14
無回答	13

※総数１８３人、複数回答あり。

■学力の向上に向けて

夏季休業中には、各中学校区に分かれて、小学校と中学校の教員が共通の課題について、グループに分かれて話しあう機会も持ちました。今後も、より一層授業改善を進め、小中の連携を強化しながら香美市の子どもたちを育てていきます。

人間関係づくりプログラム
思春期のライフスキル教育研修

小学校高学年から中学生にかけて、人間関係に悩み、学習が手につかない子どもや長期欠席になる子どもが増加してきます。その予防のための手立てや、良い人間関係をつくるスキルについて学び、学校現場に活かすための研修が、土佐山田ライオンズクラブの主催により、7月30日、31日に実施されました。

研修では、グループワークを通じて模擬授業を行いました。

参加した教員は、「市内の12校の教員が一同に研修に参加できたことは大変よかったと思う。市内各校に実践の輪が広がればと願います」と話していました。